

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年 2月 20日

事業所名 たにやま たんぽぽ

保護者数6人 回収数4人 割合 66 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					利用児の実態、活動内容に応じ、集中して取り組める環境を作っていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4					療育内容や利用児の状況に応じ、個々に合った職員体制を整えられるよう今後とも努めていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			1		指導訓練室に段差はない。車いす用のトイレも設置している。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	4					利用児の状態や年齢に応じ、必要な支援・目標を設定し今後を見据えた支援を保護者と情報共有・相互理解を図っていくよう努める。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4					利用児の状態を把握し、担当職員の判断や話し合い等で臨機応変に対応している。保護者からの要望等がある場合は、その都度対応できるよう今後とも努めていく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3		1			個別支援をベースにしている為、交流などの活動は行っていない。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					契約時に説明をしているが、聞かれた場合は都度対応していく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					必要に応じて指導後に状態を話し双方での支援内容を伝えられるように努める。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					面談時にはご要望や困っている事など無いか確認を行うようにしている。また、電話やメールでの対応も行い保護者が安心して育児(子育て)に取り組めるよう今後とも努めていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		1	2		保護者同士が交流できる部屋はあるが、利用児の実態などそれぞれ異なる部分もある為、積極的な開催は行われていない現状である。保護者からの要望があれば、交流できる環境を作るようにする。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4					相談・苦情受付窓口や担当者を掲示している。それぞれの対応についてはマニュアルを整備し、職員間の共通理解を図りながら対応している。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					視覚的アプローチによる支援を行う等、利用児にあった支援を行っている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2				2	個別療育が主体のため活動概要等は記載していない。事業所内容などの変更があった場合は、必要に応じて配布を行うようにする。
	14 個人情報に十分注意しているか	4					プライバシーの配慮等、職員への周知徹底を図っている。また、契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行っている。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2			2		学園の対応に沿い、各種マニュアルを整備し職員への周知を図っているが、保護者への周知が十分に実施できていない現状であり、今後改善に取り組んでいく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			2		事前に避難訓練を行う旨や、その時の様子などをお伝えしていくようにする。また、小学校との情報共有も図っていく。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	4					一人ひとりの現状や今後を想定しながら支援を行なっている、その中で、苦手なことにも取り組む利用児もいる為、来所を嫌がることもある。そのような時は保護者と状態を共有しながら、成長に繋がるように努めている。。
	18	事業所の支援に満足しているか	4				* 今後も宜しくお願いします	今後とも保護者と情報共有・相互理解を図りながら、より良い支援ができるよう努めていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。